

7		漢字を書く3	①
学年		組	
		名前	

1 | | を漢字で () に書きましよう。

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 夢をじつげんさせる (実現) | ⑪ 身体そくてい (測定) |
| ② でんぼうが届く (電報) | ⑫ ふくざつな内容 (複雑☆) |
| ③ 王様にさんせいする (賛成) | ⑬ きそくを守る (規則) |
| ④ 楽しいしよくば (職場) | ⑭ 家と学校をおうふくする (往復☆) |
| ⑤ ざいこう生 (在校) | ⑮ 通行きんし (禁止) |
| ⑥ 友達とさいかいする (再会) | ⑯ えいきゆう保存 (永久) |
| ⑦ 畑をたがやす (耕) | ⑰ ふさいで出席する (夫妻) |
| ⑧ こころざしが高い (志) | ⑱ すいあつを測る (水圧) |
| ⑨ こころよく引き受ける (快) | ⑲ 父がたいいんした (退院) |
| ⑩ 魚のおれ (群) | ⑳ じょうねつをそそぐ (情熱) |

☆⑫ 「ふくざつ」と⑭ 「おうふく」を、正しく書くことができましたか。
 「複」と「復」は、大変間違いやすい漢字です。
 気をつけましよう。

7		漢字を書く3		②	
学年		組		名前	

1 | | を漢字で () に書きましよう。

- | | |
|---|---|
| <p>① しんきゅうが入りまじる (新旧)</p> <p>② 犯人があらわれる (現)</p> <p>③ 子ども議会のあり方 (在)</p> <p>④ ふたたびおとずれる (再)</p> <p>⑤ こううん機 (耕)</p> <p>⑥ 少年よたいしをいだけ (大志)</p> <p>⑦ かいせいの空 (快晴)</p> <p>⑧ ねいろがよい (音色)</p> <p>⑨ イワシのたいぐん (大群)</p> <p>⑩ あらたな年 (新)</p> | <p>⑪ ただちに始める (直)</p> <p>⑫ 科学者への道をあゆむ (歩)</p> <p>⑬ ぞうき林 (雑木)</p> <p>⑭ 土地の面積をはかる (測)</p> <p>⑮ ながいねむりにつく (永)</p> <p>⑯ ひさしぶりに会う (久)</p> <p>⑰ つまと夫 (妻)</p> <p>⑱ ことをたずね歩く (古都)</p> <p>⑲ しんまいを食べる (新米)</p> <p>⑳ ぎよぐん探知機 (魚群)</p> |
|---|---|

▼ちがいに気をつけて使い分けましよう。

- ② 「現れる」・・・姿や形が表に出るとき「太陽が東の空から現れた」
 「表れる」・・・考えや感情が表に出るとき「はげしい怒りの感情が表れる」
- ⑭ 「測る」・・・長さ、広さなど「教室の横の長さを測る」
 「図る」・・・いろいろとやってみる「学級会の議題に計る」
 「計る」・・・数量や時間「持久走のタイムを計る」
- ⑮ 「長い」・・・はしからはしまで「学校の廊下は長い」
 「永い」・・・永久にという意味がふくまれる「友情の絆は永く結ばれる」

学年	<h1>7</h1> <h2>漢字を書く3</h2> <h3>③</h3>
組	
名前	

1 | | を漢字で () に書きましよう。

- | | |
|---|---|
| <p>① 一歩しりぞく (退)</p> <p>② ちようしよくを食べる (朝食)</p> <p>③ 外国からきこくする (帰国)</p> <p>④ すいでんが広がる (水田)</p> <p>⑤ ほうどう番組 (報道)</p> <p>⑥ さんどうを得る (賛同)</p> <p>⑦ しょくにんわざ (職人)</p> <p>⑧ ピアニストをこころざす (志) ▼</p> <p>⑨ 人がむらがる (群)</p> <p>⑩ 理由がふくすうある (複数)</p> | <p>⑪ おう路とふく路 (往・復)</p> <p>⑫ はんそくはしない (反則)</p> <p>⑬ 三角じょうぎ (定規)</p> <p>⑭ 父がきんしゅしている (禁酒)</p> <p>⑮ けつあつを測る (血圧)</p> <p>⑯ 要求をしりぞける (退)</p> <p>⑰ きゅうしきのエアコン (旧式)</p> <p>⑱ アメリカにえいじゆうする (永住)</p> <p>⑲ かんじょうを表に出す (感情)</p> <p>⑳ てつきょうを渡る (鉄橋)</p> |
|---|---|

▼ 「志す」と「志」の使い方のちがい

志 (こころざ) す 動詞として使う場合 「科学者を志す」

志 (こころざし) 名詞として使う場合 「大きな志」